

令和8年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

阿賀中学校区 校番 8 学校名 呉市立阿賀小学校

a 学校教育目標	自ら伸びる ともに伸びる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) ・地域との協働のもと 主体的・自律的に生きる子どもを育成する。 〈ビジョン〉(将来の学校像) ・阿賀学園地域教育連携協議会(アカデミア)の活動を生かして、「活気ある楽しい学校」「保護者・地域から信頼される学校」「やりがいのある学校」を目指す。														
c 中期経営目標 を踏まえた現状 (進捗状況)と今 年度の重点	阿賀中学校区は研究テーマを「主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒の育成」と設定し、小中の教職員が一丸となり研究を進めてきている。その成果として、子ども達の実態や多様性を共有し、個への働きかけや支援の充実を図り、「居場所ひろげ・ふかめ」と深化することができた。令和7年度は、コミュニケーションに重点を置き、特別支援教育の視点を取り入れて、コミュニケーションの技能や場の設定の工夫を取り入れた。今年度は、相手に自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりするためにも、対話を軸とした授業改善を行いながら、対話を通して相互理解をさらに深めることに取組んでいきたい。 めざす子ども像 主体的に学び、ともに伸びようとする児童 (自分の考えをもつ子ども・最後までやりきる子ども・認め合い励まし合う子ども)																
育成を目指す資質・能力		知識・技能 思考力・判断力・表現力 自らへの自信 思いやり・感謝・貢献															
評価計画(中期経営目標を設定してから 1 ・ 2 3 年目)												自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標 値	上半期			下半期								
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価						
***	学力の向上 (確かな学力の 育成)	ⓐ 基礎基本の学 力の定着を図 る。	・学力調査等の課題を踏まえ、指導の重点を定める。 ・「ドリルタイム」を年間計画に従って継続して取り組む。 ・漢字・計算の反復練習や課題克服のための学習を実施する。 ・個の課題に応じて、個別指導を行う。	・全国学力・学習状況調査において正答率30%未満、無回答率を「0」をめざす。 ・標準学力調査で全学年各教科で全国平均を上回ることをめざす。 ・国語と算数の単元テストの平均点	95%												
			・授業改善を進める。 ①導入 ②教材 ③対話 ④思考を深める発問 ⑤考えの再構築の場の設定 ⑥振り返り ⑦話し合いの型	・児童の授業満足度(よくわかる)	90%												
**	自尊感情の高揚 (自己指導能力の育成・生きる力の育成・安全安心な風土の醸成)	規範意識を高める。	・生活目標を示し、「返事・あいさつ・くつそろえ」を点検させる。 ・掃除を無言で行う。	・「返事・あいさつ・くつそろえ」の自己評価	90%												
		ⓑ 思いやりの心を育てる。	・子どもの心に寄り添った働きかけ、縦割り班活動やクラスチャレンジ、AJV等の活動の充実を図る。 ・友達のよさを見つけたり、「ほかほか言葉」を使ったりする。 ・いじめを許さない環境づくりを行う。 ・ソーシャルスキルトレーニングを行う	・「学校が楽しい」の自己評価 ・「自分にはよいところがある」の自己評価 ・将来の夢や目標をもっている。	85% 85% 85%												
		ⓒ コミュニティスクールによる 地域との協働	・育てたい児童生徒像の共有 ・多様な地域人材の教育活動への参画	・「阿賀のまちが好きである」児童の割合 ・「阿賀のまちをよりよくするために何かしてみたい」児童の割合	90% 80%												
		「自分の命は自分で守る」力の育成	・「呉市防災教育の手引き」等を活用した授業づくり ・安全指導・避難訓練の改善	・災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合	100%												
*	基本的な生活習慣の定着と体力の向上	健康な生活を増進させる。	・学級担任、養護教諭、栄養教諭が連携した食に関する授業や食育朝会を行う。 ・定期的にあがっ子生活カードで点検し、保護者啓発を促す。	・「早ね・早おき・朝ごはん」の達成率 (毎日朝ごはんを食べる。)	97%												
		体力の向上を図る。	・体育授業の充実、「阿賀小準備運動」・「あがっ子運動」を実施する。 ・体力テストに向けて体力アップキャンペーンを実施する。	・新体力テスト(50m走、ちよう座体前屈、反復横とび)が県平均を上回る。	65%												
業務改善	やりがいのある学校づくり	児童生徒と向き合う時間を確保する。	・会議時間、研修時間等を短縮する。	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80%												
		長時間勤務を削減する。	・平日18時30分退校、週1日17時退校を徹底する。	時間外勤務が月45時間を超えない教職員の人数	96%												

【k:評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60